

平成30年度 崎辺中学校 「特色ある学校づくり実践報告書」

1 学校名・所在地及び校長名

佐世保市立崎辺中学校 佐世保市天神町1706番地 校長 山田 昭博

2 学級数と生徒数

1 学年	3 クラス	7 2 名	
2 学年	3 クラス	7 7 名	
3 学年	3 クラス	7 3 名	計 9 クラス 2 2 2 名 (特別支援学級 2 クラス)

3 本年度の「特色ある学校づくり」の取組

- | | |
|----------------|----------------|
| (1) 福祉体験学習 | (4) 講演会 |
| (2) 職場体験学習 | (5) 「心の調査」について |
| (3) 崎辺中花いっぱい活動 | (6) 家庭・地域との連携 |

4 実践内容

(1) 『福祉体験学習』について

<目 標>

- ①福祉について、生徒が興味・関心を持った課題を発見し主体的に調査・研究する。
- ②人と人との関わりを通して、相手の立場に立った行動や考え方を学ぶ。
- ③調査活動や体験学習を通して、福祉についての知識や理解を深め、自分にできることは何かを考える。
- ④社会の一員として互いに協力しようとする心を持ち、福祉・ボランティア活動に積極的に参加する。



- | | |
|--------|-----------------------|
| 1 実施期間 | 平成30年12月17日(月) |
| 2 参加生徒 | 3年生(男子31名 女子42名 計73名) |
| 3 実施場所 | 崎辺中学校 |
| 4 実施内容 | 「人生の先輩方に学ぼう」 |

地域の方々約20名来校され、6コースに分かれて体験をした。（グランドゴルフ 紙飛行機、囲碁、竹とんぼ、石垣団子づくり、お手玉）その後、合唱コンクールの歌を披露する等茶話会で談話をした。年末には、お世話になった方々に年賀状を送り、返信も数多くいただいた。

（２）『職場体験学習』について

＜目 標＞

中学生の主体的な社会体験を支援することにより、共に生きる力・感謝の心・豊かな感性や創造性・自立心等を育むとともに、自己の生き方について見つめさせる。また、生徒自身が将来かかわる一般社会を実際に体験することで、自ら課題を見つけ、考え、主体的に判断し、社会の変化に対応しながらよりよく問題を解決していく資質や能力を育成することをねらいとして、職場体験学習を実施した。



- 1 実施期間 平成30年10月23日（火）～10月25日（木）
- 2 参加生徒 2年生（男子41名 女子36名 計77名）
- 3 実施場所 佐世保市内の事業所
- 4 事業所一覧（30カ所）

エレナ天神店	長崎トヨペット	佐世保市消防局
スーパースポーツゼビオ	スポーツデポ佐世保	ひばり保育園
イオン佐世保	ミスタードーナツ	手づくりてっせん
ヒマラヤ	スターカット大和店	さいかい堂
天神保育園	佐世保共済病院	百菜旬サンクル
マミー保育園	佐世保中央病院	音羽の浜
いくた製菓	ドリーム（ペットショップ）	セブンイレブン
マクドナルド	デイリーヤマザキ	十郎原郵便局
佐世保教育隊	佐世保市立港小学校	ハスポ
佐世保市立図書館	佐世保市立天神小学校	マックスバリュ白岳

校区外の事業所にも数多くお世話になりました。

(3) 『崎辺中花いっぱい活動』について

崎辺中学校で、毎年取り組んでいる活動である。この活動により、情操的な教育活動や環境教育活動が展開でき、生徒に自然を愛し生き物を大切にする心を育てたい。今年度は下記のように美化部の生徒を中心に活動した。また、灌水を夏期休業中は部活動に割り当て多くの生徒が関わり活動できた。

また、各学級に心が和むように観葉植物を置いた。



(4) 講演会について

学校歯科医、地域の方や外部からの講師を招聘し、講演会を実施した。直接、印象に残る話を聞くことで生徒の意識に残ったと感じた。また、集団で聞く姿勢や感想とお礼を書くことで礼儀の学習にもなっている。講師の方々とのつながりもできた。

- ① 7月17日 性教育講演会（全学年）・・・助産師
- ② 11月9日 デートDV防止講演会（3学年）・・・国際ソロプチミスト佐世保
- ③ 11月14日 歯の健康講演会（全学年）・・・歯科校医、歯科衛生士
- ④ 12月19日 薬物乱用防止教室（全学年）・・・市役所税関職員
- ⑤ 2月22日 メディア講演会（1, 2学年）・・・メディア安全指導員

この外にも、ふるさと歴史発見、租税教室、イングリッシュキャンプ、同窓会入会式などでも外部講師等による話を聞いてふれあう機会を設けた。



(5) 『心の調査』について

佐世保市の「心の調査」が年に1回実施され、生徒理解の一資料としていますが、本校では、10月に2回目の「心の調査」を実施した。これは、より一層生徒の良さを知るとともに、個人面談等の資料として活用した。さらに、校内研修会を実施し、より生徒理解につなげ、積極的な生徒指導に役立てた。

(6) 家庭・地域との連携について

天神地区小中学校の5校会で、保護者用「家庭教育のすすめ」と児童生徒用「家庭生活のすすめ」というリーフレットを作成した。小中連携して取り組むことで、学校の方針を全家庭に浸透するとともに、メディアに関する注意を早めに示すことができた。今後も連携して取り組むという特色を生かしていきたい。

てんじん5校 家庭教育のすすめ (保護者用)				
	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
学 習	◇家庭での学習習慣を定着させ、確かな学力を身につけるために			
	＊家庭での学習習慣を身につけ、生涯学び続ける子どもに育てよう。 ＊学年が上がるにつれて進んで勉強ができる子どもに育てよう。	○毎日少なくとも、宿題を食め「30分」は学習しよう。 	○毎日少なくとも、宿題を食め「45分以上」は学習しよう。 ○自主学習に取り組もう。	○毎日少なくとも、宿題を食め「60分以上」は学習しよう。 ○自主学習に取り組もう。
生 活	◇集団の中で公共心や規範意識を身につけ、共に生きる力を身につけるために			
	＊豊かな体の成長のために、十分な睡眠とバランスのとれた食事を心がけよう。	○9時には寝よう。 ○早起して、朝ごはんを食べよう。 ○朝食をしっかりと食べよう。	○9時30分には寝よう。 ○早起して、必ず朝ごはんを食べよう。 ○朝食のバランスを考えて食べよう。	○10時には寝よう。 ○早起して、必ず朝ごはんを食べよう。 ○朝食のバランスを考えて食べよう。
	＊あいさつや地域の行事、地域の活動を通して、社会性を育もう。 ＊家庭での会話を通して、子どもの心を育てよう。	○家庭に元気なあいさつをしよう。 ○地域の行事や活動に積極的に参加しよう。 ○毎日の家事をしよう。	○近所の人にも元気なあいさつをしよう。 ○地域の行事や活動に積極的に参加しよう。 ○毎日通で家の仕事をしよう。	○公共の場で時と場に応じたあいさつや言葉遣いをしよう。 ○地域の行事や活動に積極的に参加・協力しよう。 ○家族の状況を考え、お手伝いをしよう。
	＊身近な危険から自分の身を守る子どもに育てよう。	○交通安全に気をつけて行動しよう。	○1日1回は時間を決めて子どもと話し合おう。	○交通安全ルールやマナーを理解し、安全に気をつけて行動しよう。
情 報 モ ー ル	◇情報が生活に及ぼす影響を理解し、情報を適切に活用する力を身につけるために			
	＊いかにつながる行為や機器に脅かされることがないよう、SNSやインターネットを正しく使用できる子どもに育てよう。 ＊家庭での時間の使い方を考え実行できる子どもに育てよう。	○インターネットのできる携帯端末を使わない。 ○テレビ、ゲームをする時間を決めて守ろう。	○インターネットのできる携帯端末を制限する。 ○インターネットのできる携帯端末は、保護者と一緒に使う。	○インターネットのできる携帯端末の使い方や使用時間は、家庭で話し合い、約束を決める。 ○インターネットのできる携帯端末は、保護者と一緒に使う。

てんじん5校 家庭生活のすすめ				
	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
学 習	◇家庭での学習習慣を定着させ、確かな学力を身につけるために			
	○まいにちすくなくとも、しっかりと「30分」は勉強しよう。	○毎日少なくとも、宿題をふくめ「45分以上」は学習しよう。 ○自主学習に取り組もう。	○毎日少なくとも、宿題をふくめ「60分以上」は学習しよう。 ○自主学習に取り組もう。	○毎日少なくとも、宿題を食め「90分以上」は勉強しよう。 ○宿題は必ず家で終わらせよう。 ○テスト前は最低でも「学年＋1時間」自主学習に取り組もう。
生 活	◇集団の中で公共心や規範意識を身につけ、共に生きる力を身につけるために			
	○9時にはねよう。 ○早起して、あさごはんを食べよう。 ○朝食をしっかりと食べよう。	○9時30分にはねよう。 ○早起して、必ず朝ごはんを食べよう。 ○朝食のバランスを考えて食べよう。	○10時には寝よう。 ○早起して、必ず朝ごはんを食べよう。 ○朝食のバランスを考えて食べよう。	○自分で考えて、睡眠時間を確保できるようにしよう。
	○かぞくにけんきなあいさつをしよう。 ○ちいさのぎょうじやかつどうにせきよくてきにさんかしよう。 ○まいにちいえのしごとをしよう。	○近所の人にも元気なあいさつをしよう。 ○毎日通で家のしごとをしよう。	○地域の人にも場に応じたあいさつや言葉づかいをしよう。 ○地域の行事や活動に積極的に参加・協力しよう。 ○家族の状況を考え、家の仕事をしよう。	○公共の場で時と場に応じたあいさつや言葉遣いをしよう。 ○交通安全ルールやマナーを理解し、安全に気をつけて行動しよう。
	◇情報が生活に及ぼす影響を理解し、情報を適切に活用する力を身につけるために			
	○インターネットのできる携帯端末を使わない。 ○テレビ、ゲームをする時間を決めて守ろう。	○インターネットのできる携帯端末を制限する。 ○インターネットのできる携帯端末は、保護者と一緒に使う。	○インターネットのできる携帯端末の使い方や使用時間は、家庭で話し合い、約束を決める。 ○インターネットのできる携帯端末は、保護者と一緒に使う。	○SNSやインターネットのできる携帯端末の使い方や使用時間は、家庭で話し合い、約束を決める。 ○SNSやインターネットのできる携帯端末は、保護者と一緒に使う。

学校便りを校区内の全家庭に配布している。このことで、地域の方々についても、本校の教育活動及び特色に関する理解と協力を得ることができた。